

2019年11月27日

泌尿器科の入院診療を受けられた患者さんへ

「高リスク前立腺癌に対する根治的前立腺摘除術前テガフル・ウラシル（UFT）、GnRHアンタゴニスト併用療法の検討」への協力をお願い

泌尿器科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004年4月～2019年3月に当科において、根治的前立腺摘除術を受けられた方

研究期間：2019年3月6日～2024年3月31日

研究目的・方法：

根治的前立腺摘除術前のホルモン治療は広く行われていますが、高リスク前立腺癌に対する効果は限定的です。本研究では術前に前立腺癌に対して保険適応されている2剤（GnRHアンタゴニスト、UFT）を投与することにより、低～中リスクの患者、過去に根治的前立腺摘除術を行った患者と比較し、予後を検討いたします。

研究に用いる試料・情報の種類：

根治的前立腺摘除術を受けた方の術前治療、再発の有無、全生存率、血液データ（PSA）の情報を使用します。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

電話番号 058-230-6338

氏名：飯沼 光司

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科

氏名：飯沼 光司